

進物用イチゴ増産！私の農業経営プラン

井戸垣 克美

1 はじめに

私の家は代々農家で、会社を早期退職して父から経営継承する形で農業に取り組み、水稲と野菜作りを中心に営農していましたが、中型ハウスで一年を通じて栽培でき安定収入に繋がる作物として苺の栽培を中心とした農業経営に転換していくことを決めました。

苺の栽培は8年前から取り掛かっている、最初の3年間は納得のいく味にできるよう、苺の栽培に関する知識と経験を積み、その後販路確保のため売込みを行なうことで、5年目から販売成果が見え始めました。当初は美味しい苺を安定して生産し続けることが難しく、これまで何度か意見をいただいたこともありましたが、最近では味のばらつきも減り、商品の品質では他の苺より日持ちが良いと言われるまでになりました。

最近では、スーパーや農家レストランなどからの受注が増え、の話も入ってくるなど、苺の生産が追い付かず、スーパーのバイヤーからは生産拡大が待ち望まれている状態です。このため、ハウスを1棟増設して増産し、お得意先の要望に応え、所得の向上に繋がりたいと考えています。

現在の労働力としては、私と母が中心で、家族の手伝いもあり経営していますが、ハウスを増設して生産性の向上を図る上では、正規雇用も要すると考えています。また、苺の規格外の商品も、ジャム用、ジェラート用として販売先は確保しており、無駄をなくすなど、これから先は能率良い栽培、配送、営業、経営を目指していきます。

2 農業経営の現状

現在、イチゴ（あきひめ）6a（ハウス）、野菜（露地）（サトイモ、白ネギ等）53.8a、水稲（きぬむすめ）178.6a、花き（ハス、菊等）16aの規模で農業経営しています。また、平成27年より高齢化を理由に近所の方に頼まれて、借地が68.7a増えまして、こちらには水稲（きぬむすめ）を作付けしています。昨年12月に認定農業者になり、さらなる売上・利益の向上を目指していきたく考えています。今は、基本的に母と私と2人で作業しており、私は水稲とイチゴ、母は野菜と花を中心にお互い手伝いながら作業しておりますが、田植えや稲刈り、イチゴの苗の植え付け等繁忙期には家族（妻・子供2人）の手伝いも受けて家族経営しています。

今後を考えると、母も高齢になるので、子どもの手も借りていますが、現在2人お願いしている臨時雇用から、正規雇用も必要となると考えています。

売上としては、イチゴがここ数年200万円程あり、続いて水稲が70万円、野菜・花きが60万円、年間合計はおおよそ330～350万円です。

設備・機械については、トラクターは平成11年、田植え機は平成20年に購入したものを使用しており、乾燥機は30年以上、ビニールハウスも古いものは30年以上使用しています。

3 経営の現状と計画

(1) 経営概要（H27）

氏名	井戸垣 克美
経営面積	254.4a（うち借地68.7a）
主要作目別面積	水稲178.6a、イチゴ6a、野菜53.8a、花き16a
農業従事者数（人）	常時従事者 2人（私、母）、臨時雇用 2人

(2) 経営規模の現状と計画

(単位：アール)

項目	H25 (現状)	H26 (現状)	H27 (現状)	H28	H29	H30 (目標)
経営耕地 (計)	185.7	185.7	254.4	254.4	254.4	254.4
うち所有地	185.7	185.7	185.7	185.7	185.7	185.7
うち借地			68.7	68.7	68.7	68.7
品目別栽培面積	H25 (現状)	H26 (現状)	H27 (現状)	H28	H29	H30 (目標)
合計	185.7	185.7	254.4	254.4	254.4	254.4
水稻 (きぬむすめ)	109.9	109.9	178.6	178.6	178.6	178.6
いちご	6	6	6	11	11	11
ハス、菊 (花き)	16	16	16	16	16	16
その他野菜	53.8	53.8	53.8	48.8	48.8	48.8

※品目別栽培面積は露地及びハウスの植付面積。

(ア) 特別栽培農産物生産・出荷状況

特別栽培農産物生産登録(H26)	品目・品種	面積 (a)	出荷量 (kg)
申請者名等 井戸垣 克美	水稻 (きぬむすめ)	109.9	3,450
	イチゴ (品種:あきひめ)	6.0	1,356

(3) 農業労働力 (現状と計画)

農業従事者	年間農業従事日数*		備考(役職等)	年齢
	現況(H26)	計画 (H30)		
井戸垣 克美	320	300	経営者	54歳
井戸垣 ■■	120	80	母	
井戸垣 ■■	10	200	妻	
井戸垣 ■■	10	10	子	
井戸垣 ■■	10	10	子	
臨時雇用	2.5	4		

* 8時間を1日に換算

(4) 農業機械施設の整備状況 (H27年6月時点)

区分	台数	規格・能力	導入年度	備考
コンバイン	1	2条	H11	自己資金
田植え機	1	4条	H20	〃
トラクター	1	23ps	H17	〃
籾乾燥機	1	18石	S55	〃
ビニールハウス	4	6m * 50m (3a) × 2棟 4m * 50m (2a) × 2棟	S58、H17 S56、S52頃	〃

(5) イチゴの生産・販売 (実績・計画)

平成27年度に高設栽培用のハウスを増設することにより、イチゴの栽培面積を拡大し、進物用のイチゴ(あきひめ)の割合を増やすことにより、イチゴの売上単価を上げていきます。

H25～H30までの

(ア) イチゴの農業経営計画

項目 / 年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(目標)
栽培面積 (a)	6	6	6	11	11	11
単収 (kg/10a)	2,300	2,260	2,300	2,400	2,800	3,000
生産量 (kg)	1,380	1,356	1,380	2,640	3,080	3,300
売上単価 (円/kg)						
売上 (千円)						

(イ) イチゴ出荷先内訳

(単位：千円)

出荷先/年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(目標)

(ウ) イチゴ進物用販売実績・計画

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(目標)
出荷量 (kg)	1,380	1,356	1,380	2,640	3,080	3,300
うち進物用 (kg)	28	47	66	83	99	110
進物用箱数 (個)	50	85	120	150	180	200

※進物用：粒の大きさはたまごのS、Mサイズ程度のものに揃えています。
(1箱約550gとして計算)

4 プラン目標

イチゴは、現在、生産量が受注量に足りていないので、まずビニールハウスを1棟(5a)増設することで対応し、生産量増加と品質向上による売上増を目指します。また、プラン実施期間終了後にはなりますが、将来的にはハウスをさらに1棟増設したく考えていて、少なくともその頃には常時雇用も必要となると考えています。

プラン実施期間 平成27～29年(3年間)

目標年度：平成30年

① 目標：新たな面積増加によりイチゴの売り上げをのばす

数値目標：イチゴの売り上げ を目指す。

② 目標：品質の向上に努め、進物用としての出荷量を増加させる

数値目標：進物用としての出荷量110kgを目指す。

5 プラン目標達成のための課題、改善内容及びその効果

1) 目標達成のための課題

① イチゴの生産量増加を目指し、今までのお得意先への商品不足を解消

現在でも一定量の販売先は確保していて、自家生産分のみでは足りておらず仕入分で対応している状況なので、生産量を増やし、売上増を目指す。

② イチゴの新規売り先開拓

現在既にある取引先に加え、売込みを行なうことにより新規顧客を開拓し、進物用の販売数を増やす。

③ イチゴの高設栽培、自走式動力噴霧器の導入により作業能率性を上げる

増設するハウスにおいても高設で栽培することによって作業効率を上げ、自走式動力噴霧器により適期に農薬散布を行なうなど、こまめな栽培管理により農薬使用量を減らした栽培を実現し、高品質で安心・安全なイチゴを生産する。

2) 改善内容及び期待される効果

① イチゴの安定出荷

栽培面積を増やすことにより、仕入れ割合を減らし、自家生産を主に安定した出荷をする。

② オリジナルの箱（苺姫）を用いた進物用として売り込む

現在、進物用としての出荷に好評をいただいている、大粒なもので揃えて出荷するので、価格も高く利益率が良いので、力を入れていきたいです。G社を通して 売り込みもしており、需要も伸びていくものと考えています。

③ 高設栽培により軽作業化を図り、手を掛けることで減農薬・高品質なイチゴ生産に努める

増設するハウスにおいても高設で栽培し、動力噴霧器を導入することによって栽培管理作業全体の軽作業化を図ることで作業にゆとりが生まれ、さらに手間を掛けることで高品質なイチゴ生産に繋がります。

6 具体的な取組と役割分担

具体的な取組項目	H26	H27	H28	H29	H30 (目標年度)	役割分担
(規模拡大苺ハウス)	6 a	11a	11a	11a	11a	事業主体
機械設備の充実 苺のハウス大型 (ハウス・高設資材 一式、暖房機材、 燃料タンク)		◎				県、市、事業主体
動力噴霧器		◎				県、市、事業主体

◎：鳥取県、市町の支援の必要なもの（がんばる農家プラン事業）

○：事業主体によるもの（補助事業活用無し）

7 支援事業の内容（年次計画）

（単位：千円）

項 目	H27	H28	H29	負担区分
苺用大型ハウス (ハウス暖房機、高設の土)	6,712			県 1 / 3 市 1 / 6
動力噴霧器	390			事業主体 1 / 2

上記事業費は税抜き金額